

平成 27 年度企画提案型協働事業（第 2 次審査）

印西市木下地区歴史講座 提案に関する委員会付帯意見

- 1 地域おこしにつながるような提案内容の刷新を図ってください。
- 2 特に若い世代や千葉ニュータウン地域からの参加者が増えるよう、企画内容や P R 方法の工夫に努めてください。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

内容の刷新を！

- ・今日レベルアップを期待したのですが…。住む街の歴史を知り、愛着を持つための活動は、重要だと思います。ただ同様イベントは、他にもあり、今提案内容が今までと変わらないものとなると残念です。
- ・地域ブランドのツールとして、利用できるような新たな展開が必要ではないか。

新たな展開を

- ・これまで実施してきた各講座を冊子等にまとめて、市民に P R する様な取り組みも考えてみてはいかがでしょうか。
- ・地域起しの一端の役割を担えるようになるのか。
- ・地域起しとしての実績と成果は。
- ・観光資源として将来的な展望は。
- ・歴史講座事業に終るのではなく、他の郷土史や市民ガイドなどのグループと協働して、郷土文化、歴史を知ってもらう市民参加型のイベント開催を期待します。

参加者の拡大を

- ・講座参加者の若返り、及びニュータウン等の印西市民の参加者（ネット等の呼びかけによる他地区からの参加者の増加ではなく）をもっと増やしてもらいたいと思う。
- ・特に、新住民の方々にむけて広報を行い、多くの市民と町の歴史をシェアしていただきたい。子どもたちへの講座を開講していただきたい。
- ・人気の高い特別講座の更なる充実を図って頂きたい。特に若い年代層にも参加して頂く企画（親子セミナー等）については、市と協力の上、更なる発展のための努力を継続して行って頂きたい。
- ・講座受講者は、その後、印西市のふるさと意識の醸成とまちの活性化に貢献しているのか。
- ・市外からの訪問者を呼込む手立ては検討しているのか。
- ・参加者が徐々に増加している様な実績となっていますが、ほとんどがリピータであれば、増えていると言いはないと思います。底辺を拡大する取り組みを是非進めて下さい。
- ・どんな方法で P R を検討しているのか。

その他

- ・かつて木下河岸と利根川水運により隆盛をきわめた木下の歴史を、明治 24 年築の吉岡まちかど蔵

を軸に、印西市民に広く知らしめる、良き場と機会を提供していると思う。

- ・印西市の歴史を語る上で、かかせない木下河岸・町家等の文化資産を市民協働事業として講座を進める事は、重要な意味のある事だと考えます。
- ・吉岡家の知名度には疑問はあるが、参加者、企画とも協働事業として妥当と考える。

企画提案型協働事業 印西市木下地区歴史講座 平成27年度第3次審査 委員会総合意見

- 1 まちの歴史継承、地域の文化振興に貢献する貴重な事業です。活動の効果を高める新たな取り組みにも期待します。

各委員の参考意見（ふせんの転載）

更なる発展に期待

- ・印西市（木下地区）の歴史を学ぶ活動、協働事業として意味があると考えますが、リピーターを増加させる、あるいは、参加される仲間を増加させていく様な活動を期待致します。
- ・吉岡まちかど博物館にとらわれずに、水運の歴史を広く伝えることを活動テーマに、さまざまな年代にむけたプログラム開発を期待します。
- ・元気な高齢者にもっと勉強してもらうために、他市より更にレベルアップした講座を期待して下さい。
- ・歴史的なことはすぐには広められないと思いますので、その中で小学校の町めぐりや参加者が増えてきていることは、続けている努力と思います。少しずつでも広まっていくことを願っています。

具体的アイデア

- ・夏期講座では船で巡る木下河岸をテーマに、それ以降、親子で学ぶ木下歴史講座を定着させ、若い世代に、この講座を広めてもらいたいと思う。
- ・市民参加（主体）の講座（得意分野を持っている市民）も設定してみてはいかがでしょうか。
- ・興味を持ってもらう方策として当時の町並を再現したジオラマを展示してみてもはどうでしょうか。
- ・東京電機大学の力を借りて、当時の町並（木下河岸など）を再現したコンピューターグラフィックスを作成し広報活動にあててみては。
- ・小学生から高齢者までの参加を広めるためには、他の全く違うことをしている団体とコラボして、利根川沿いに人を集める方法を考えるなどするのはいかがでしょうか。
- ・まちかど案内人養成講座の開設をしてみてもは。

情報発信も

- ・歴史文化を後世に伝えることは重要なことだと思いますので、活動の輪を是非広げていって頂きたい。
- ・パワーのあるコンテンツですので、上手く、情報を、メディアに投げてください。